

## 3常任委員会

# 充実の取組!!

任期最終年度における3常任委員会の所管事務調査は「持続可能なまちづくり」が大テーマ  
「ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」を、厚生文教は「生涯現役で活躍できる高齢者支援」を、



## 新潟県中越大震災からの復興

- 先の中越大震災から18年。復興までの「新潟県小千谷市」の取組に触れた。
- 激甚化する風水害等への対策について「防災地域支援課」と意見交換を図った。 山口委員



### 「小千谷市防災公園」

災害時の緊急避難場所・応急の仮設住宅建設用地として活用。



### 「おぢや震災ミュージアム そなえ館」

各種の防災学習体験プログラムを展開。



## ゼロカーボンシティにつなげる ZEB化と森林管理

- 「環境省」主催のWEB会議に参加。環境配慮型の建築物の重要性に触れた。
- 森林資源の適切な整備・管理・活用について「小鹿野町」の取組を学んだ。



### 既存建築物の「ZEB化」

省エネ化でエネルギー消費を50%削減。太陽光発電設備等の導入で光熱水費の大幅削減を見込む。



### 「地場産材」を生かした新庁舎の建設

環境配慮型の新庁舎。平角組立柱を用いて大規模な木造建築を実現。



次ページは予算特集

# 集大成となつた調査研究

となつた。総務は「激甚化する自然災害への対策」を、経済建設は研究の柱に据えて「住み続けられるまちづくりを」目指し、調査に努めた。



## 人生100年！生涯現役で幸せ実感「ながの」

- 「長野市」で先駆的に進められている各種の高齢者施策・生きがいづくりに触れた。



### 多様なニーズに応える 「生きがいづくり講座」

健康づくりや介護予防、レクリエーションなど、豊富な講座を開催。



### 「ながのシニアライフアカデミー」の展開

地域社会で活躍できる知識や実践力を身に付けるための講義を実施。



市民活動の機会と場所を提供する複合施設



### 「長野市高齢者サービスガイド」の作成

高齢者対象の行政サービスをまとめた全146ページにわたる冊子を作成。全9章の内容は、理解しやすく丁寧な説明・仕上がりで便利。



### まとめ 男性高齢者の社会参画を

人生100年時代に生涯現役で活躍するためには、健康・介護・生涯学習・就労支援といった長野市が展開する横断的な高齢者施策が必要不可欠である。また、各講座などへ特に男性高齢者の参加を促す工夫や、活動拠点の充実を求める。



## 過去の調査研究から施策の実現へ

3常任委員会の調査研究から町への提言・要望につなげることで、実現した事業や取組は数多くあります。以下は一例です。

### シティ・プロモーション事業

平成30年1月 栃木県鹿沼市のプロモーション事業「いちご市プロジェクト」を視察

実現 地方創生関連事業として取り組んでいる「小川町SDGsまち×ひとプロジェクト」の中で、プロモーションブックを発行。体験・参加型の事業展開で、関係人口の創出に寄与している。

### 伴走型の中小企業支援

令和元年11月 静岡県富士市産業支援センター「f-Biz(エフビズ)」を視察

実現 エフビズを手本とした「埼玉県よろず支援拠点」の支援を受け、週に1回経営相談を実施(令和2年4月～)。町商工会でも「ビジネスのお困りごと相談会」を令和4年4月からスタート。

### 特色ある教育

平成23年11月 長野県富士見町「小中学校統合」・長野県信濃町「小中一貫校」を視察

平成29年11月 長野県佐久穂町「施設一体型小中一貫校」・長野県中野市「小・中学校統廃合」を視察

実現 「おがわ学」の構築・深化が進む。少子化の中で、町立学校と県立小川高校の児童生徒が連携し、地域資源を題材に各教科と関連付けた授業を実践。

# 総務 厚生 経済

## これまで そして これから

当時、町に要望したこと  
が事業化され感慨深いです。  
今後も住民のため、研鑽に  
励んでください。

(松葉幸雄 元総務常任委員長・  
下小川二)



### まとめ 特色を生かした多角的な取組を

建築物のZEB化は、単に「環境」という部門にとどまらず、所管を超えた柔軟で多角的なアプローチが必要である。また、ゼロカーボンシティ宣言をした当町は、その実現に向けた取組について、町外にも広く発信し、実践していくことが求められている。

### まとめ

### 「森林環境譲与税」の活用

同税を財源に適切な森林整備を。埼玉県中央部森林組合等との連携が重要。

### ポイント

### 「森林環境譲与税」の活用

同税